

第10回アクラスZOOM寺子屋(2022.3.10)

参加者の感想

感想（ご自由にお書きください）	
1	本日はどうもありがとうございました。並びに、ビデオが壊れていて映らなかったことにお詫び申し上げます。ブレイクアウトでは、いろいろ意見交換できたので、本当に勉強になりました。今後もセミナーに参加したいと思います。よろしくお願い致します。
2	オンライン授業についてじっくり振り返る時間を取っていなかったのが、貴重な時間になりました。いつも感じていることですが、色々な先生方とつながり対話をする事で新しい気づきをたくさんいただくことができます。教師のつながりを今後も大切にしていきたいと思っています。 また、伊藤先生の多様な視点からのお話にヒントをたくさんいただきました。ありがとうございました。
3	伊藤先生のお話は改めて自分が何を目標そうとしていたのかを考えさせられました。 また、ブレイクアウトルームで、他の皆さんのお話を聞くことでいろいろな実践例があることを教えていただきました。そして、改めて学習者と真摯に対峙するという日本語教育の原点を思い起こすことができました。ありがとうございました。
4	今日のお話はいろんな気づきをいただきました。学習の基本は学習者、オンラインも学習ツールのひとつであり、どう位置づけるかが我々教師の力量にかかっていると感じました。オンラインのよいところ、わるいところ、「オンラインでなければできない活動」「オンラインだからしたい活動」から「オンライン授業の魅力と課題」を考察できたことはありがたかったです。感謝！
5	遠隔授業を対面授業と同じようにやろうとするから不都合が出てきていることに気が付きました。同じようにはできないと学んできたのに、オンラインに慣れていくうちに楽な方へといっていました。今までの授業のやり方を壊し、新しいものを学生と作っていきたいと思います。こうあるべきだ、という固定観念も壊し、前に進んでいこうと思います。ありがとうございました。
6	伊藤先生のお話の中では、2つの分水嶺を行き来するという考え方が心に残りました。まだ消化しきれていない感がありますので、できましたら出典を再度お示しいただけると嬉しいです。いろいろメモしながら聞いていましたが、その部分の出典はメモし忘れました。また、ブレイクアウトルームでは、皆さんの実践をお聞かせいただいたり、私の実践を意義付けてくださって考えが深まったりと、大変充実した時間を過ごすことができたこと、心から御礼申し上げます。これからも実践の中で学習者との向き合い方を大事にしながら考えていきたいと思っています。
7	コロナ前からオンライン専業だった私にとって、コロナによるこの急激な変化は意外なものでした。テクノロジースキルを求める方が増え、さほどテクノロジーを使わないオンラインレッスンをしていた私は反対に取り残されたような気分になったりしました。 今日は、伊藤先生のお考えが、現在私のしていることに近かったことがとても嬉しかったです。これからも受講者の満足をぶれずに追い求めていこうと思っています。 ずっとオンラインで活動している私にとって、コロナ前と違うと感じることは新しい人との出会いがあっても関係性が深くないことです。伊藤先生ご紹介くださったように、SNSは便利ですが、相手を理解することに限界があるようです。信頼を築くためには対面であってもオンラインであっても時間が必要です。効率重視のオンラインではそれが軽視されがちな気がしました。気づきをいただきありがとうございました。 最後に、嶋田先生、私はZoom寺子屋になってからは申し込みを遠慮していました。今回はオンラインの振り返りがテーマということで、早押しドンに参加してしまいました。人とつながる機会を常に大事にされていて、惜しみなく分けてくださる先生の周りは笑顔がいっぱいですね。素敵な機会をありがとうございました。

8	<p>本日は充実した時間をありがとうございました。良い振り返りの時間になりました。振り返ることを自分だけ行っても、コース内容を決める立場の方々、またもとから学習には興味がなく来日しておられる方たちの根本的な問題もあるので、教師が学習者中心の立場を忘れてはいても、そうならざるを得ない点もあるように思います。それでも自分の意識が変わると何か手ごたえも変わってくるので、また改めて取り組んでいこうと思いました。ありがとうございました。</p>
9	<p>オンライン授業になって2年、Zoomの扱い、問題が起こった時の対処、PPTにも慣れました。しかし、次々とあたらしい技術のことを聞き、脅迫観念にとられる日々でした。そんな折、今回の研修で「学習者の立場から考える」という振り返りの気づきをいただきました。また、コロナが収まっても対面授業のみには戻れない、対面授業になったとしても、ICTの機能を活用しなければならないことなど、皆さんと話すことで自分なりに納得できる点が多々ありました。すばらしい機会をありがとうございました。</p>
10	<p>この2年間色々悩みの尽きない、またいつもチャレンジをし続けてきたオンラインの日本語授業ですが、伊藤先生のお話で強く思ったことは、オンライン授業と対面授業の長所をもっと冷静に観察し直し、実践と結び付けて再考する必要性です。2年間のオンライン授業で、教師のみならず学生もオンラインに慣れ、今では「まるで本当の教室にいるようです」と言ってくれる学生も増えてきました。「オンライン授業では何も困ることはない」（インターネットのスピード以外）という学生がほとんどです。しかしながら、やはり対面授業で「先生や友達に会って気軽に話したい」と切望する学生たちもいます。ポストコロナでは、オンライン・対面授業それぞれの長所を生かしたハイブリット教育にも是非挑戦したいと考えています。今日は、有意義な振り返りの機会を与えていただき、ありがとうございました。</p> <p>PS)私も犬が大好きなので、今日のお話でまず頭に浮かぶのは、なんと伊藤先生の愛犬のお話です！「すきを見て」というのがオンライン授業に共通するような・・・（笑）</p>
11	<p>今回、コロナ禍になってはじめてZOOM寺子屋に参加させていただきました。以前、中野のアクラス事務所で所狭しと並んで座ってお話を伺っていた頃が懐かしく感じました。肌で感じられる対面の集まりはもちろん恋しいですが、今回のようにオンラインで世界中にいらっしゃる皆様との会合も意義深いですね。今回、伊藤秀明先生と山田先生編集の『オンライン授業を考える』書籍も購入していたので、タイムリーにお話が聞けてよかったです。アクラスからメルマガを受け取った時にタイトルに惹かれすぐに申し込んだのですが、キャンセル待ちだとのご一報をいただき、でもすぐにキャンセル待ち（1人目だった）で入れていただき、ラッキーでした。伊藤先生の落ち着いた話し方も癒し効果があるなあと思いました（笑）身近なご愛犬のお話から、理論的なお話への移行もすっと入ってきて、実践的なオンライン授業の見直しと理論的な考えに基づいた振り返りは私の飽和状態にとっても新鮮な風を入れていただきました。今回の機会に感謝申し上げます。ブレイクアウトルームセッションでのメンバーにも恵まれました。有意義なディスカッションができました。</p>
12	<p>「学習者中心」を心がけていたつもりが、無意識のうちに、遠ざかってしまっていたことに気が付きました。便利なアプリや機能を知り、それを授業に取り組むことで精いっぱい、ひどいことに、それが使えることで授業の内容がよくなったように感じてしまっていました。それに気づき、とても恥ずかしくなりました。また、ブレイクアウトで先生方と意見交換させていただけたことで、多くの気づきもありました。改めて自分の授業を見直し、教師としての在り方を考えるいい機会となりました。本当にありがとうございました。</p> <p>今後も続くオンラインでの授業。学習者に寄り添った、学習者中心、そして私自身も楽しめる授業を考えていきます。この度は本当にありがとうございました。</p>
13	<p>まず、固定観念を外して自由な発想で物事を考えることの大切さを再確認しました。フィルターを外して自然の中で考え、相手や対象を多様性の中でとらえること。経験をとおして学び続けることは、学習者にとっても指導者にとっても大切なスタンスだと改めて実感することができました。</p> <p>今回の寺子屋（勉強会）久しぶりに参加でき、皆様と情報共有ができて嬉しかったです。</p>

14	<p>昨日は大変お世話になりました、ありがとうございました。 私のような経験が少ない者が果たして、参加して良いものかと実はぎりぎりまで迷っておりました。ですが、BORでは皆様とても穏やかな あたたかい方ばかりで不安はすぐに消えました。</p> <p>5月から30日の状況をみながら、対面・オンラインでの外国籍(主にベトナム)の方々へのほんご教室を自身を中心となって始めます。同時に地域の活性化に繋げるための拠点となるのが目的でもあります。ここ数年 すっかりZOOMが浸透し、パワーポイント等のスキルが当たり前となり、アナログの私はパワーポイントを習いにいたり、画面共有に四苦八苦したりと "見せる"ことに特化しておりました。そしていつのまにか、学習者ではなく自分自身のことで精一杯になっていたことを、今回の講義で改めて気づき、口では学習者中心と言いながら本末転倒でした。</p> <p>どうしていったらいいのか、正直今現在は明確な答えは出ませんが、スキルに捉われず、先ず相手が何を望んでいるのか、どうしたいのかを一呼吸おいて心でみたいと思います。おかげ様で肩に入っていた力が抜けた気がしております。</p> <p>インド・ベトナム・東京と普段ではお会い出来ない方々とお話が出来たこと このような貴重な経験を頂けましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。</p> <p>また、是非アクラス様の講義を受講させて頂きたいと思います。どうぞ、宜しく願いいたします。</p>
15	<p>初めての参加で緊張しておりましたが、楽しく参加することができました。学習者中心ということを改めて考えるいい機会となりました。ありがとうございました。</p>
16	<p>昨日(3月10日)はオンライン授業の振り返りと新たな気づきを参加者の皆さまと共有でき、大変有意義な2時間でした。どうもありがとうございました！ コロナで一斉にオンライン授業に切り替わったとき、技術的な事ばかりに捉われていました。対面授業ではプロジェクターで教材・資料を投影したり音声を流したりするのに四苦八苦だったのに対し、オンラインでは画面共有という安楽な方法で学生たちに提示できるようになり、本当に画期的だと思いました。一方で、学生の中にはスマホの小さな画面で授業を受けていたり、プリンターが無いのでチャットに流した資料が印刷できなかったり、ネット環境が整ってなかったり・・・と、学生たちも私自身もイライラが募るようになりました。どんなにオンラインが進化しても、このような問題が無くなることはないかもしれません。オンライン授業であっても「オーダーメイド」「双方向」という基本理念を忘れず私も教師として進化していきたいと思いました。</p>
17	<p>今回も又、とても有意義な時間をいただきました。ありがとうございました。先生のお話は聞けば聞く度腑に落ちるのですが、改めて自身に聞いてみると、なかなか思うように行かないことが多いです。オンラインはコロナ時代の対面授業の代替品ではありません。この先、ハイブリッドも定着化していくでしょう。語学は対面、とおっしゃる先生方も多いのですが、全員の手元(W/Bなどで)を見ることが出来たり、遠距離の授業を受けることが出来たり、録画や動画やいろんなツールを駆使して授業を行うことが出来ます。何より、経済的な面での苦勞の一助になることの意義は大きいです。こうして、世界中の皆様ともつながることが出来ますし。私達発信側はオンラインに振り回されるのではなく、受講生目線の授業デザインを心掛け 日々精進して行けたらと思います。ほんとうにありがとうございました。</p>

18	<p>伊藤先生が多くの文献からオンライン、対面それぞれの授業について様々な角度からの知見を紹介してくださり、それに沿って自分たちでも意見を出し合う中で見えてくるものがありました。</p> <p>感じていたけど明確に自覚していなかったこと、反省する点、変わらず大事にしていくべきことなどたくさんの気づきを頂けて、大変有意義な時間でした。</p> <p>伊藤先生、企画して下さいました。ありがとうございます。</p> <p>また、この度新しい水際対策でERFSでの登録が必要となりましたが、その説明会の情報を嶋田先生がいち早く発信して下さいのおかげで、私の勤務校でも出遅れることなく手続きを行うことができました。いつもありがとうございます。今後とも宜しくお願いいたします。</p>
19	<p>今回のZOOM寺子屋では、様々な観点からオンライン授業とはということを考えることができました。お話一つ一つが興味深く、自分が気づいていなかった考え方を具体的な言葉や体験で理解することができました。本当にありがとうございます。最初はコロナで対面授業ができないからオンラインでという始まりでしたが、2年間ZOOMでの授業に悪戦苦闘してきた自分の関わり方を振り返る特別な時間となりました。日々の授業の中で、オンライン授業が苦手なことを嘆いて、それに慣れてしまったことも反省しました。「オーダーメイド力を鍛えることが大切」という言葉を忘れずに、新学期に向けてやっていることを見直していこうと思います。</p>
20	<p>教員になってから常に「教師中心ではなく学習者中心へ」「学習者の気づきから『～できる』への学びへ」を意識していたはずが、「学習者中心からテクノロジー中心へ」という流れの逆行をしていたことに気付かされました。学習者のニーズに合ったオンラインならではの「Can-do」にはどんなものがあるのか、学習者はオンライン上でどのような学びを望んでいるのか、常に考えさせられる貴重な2時間でした。人と人の相互作用という学びの本質を自らに問い直すきっかけとなりました。心より感謝いたします。</p>
21	<p>伊藤先生のお話を伺ってからグループで話し合うことで、自分の中で何が問題なのかがはっきりしてきました。この2年、学生たちが授業に集中できないのはオンラインのせいだと考えることが多かったです。しかし、振り返ってみるとそれ以前から大学受験のシーズン～卒業式までの時期、自主勉強？に励む学生たちに悩まされてきたことを思い出しました。対面かオンラインかという問題よりもやはり授業の中身に問題があるのかもしれないと思い至りました。嶋田先生の「学習者第1」という言葉が今さらながら胸に響きました。授業が教師の独りよがりになっていたのかもしれないかもしれません。対面であってもオンラインであっても、学生たちに必要だと感じてもらえる授業をもう一度組み立て直してみようと考えました。多くの気づきを与えていただき、ありがとうございました。</p>
22	<p>伊藤先生のお話を伺い、ツールに振り回されず、学生に向き合う大切さを改めて考えさせられました。</p> <p>「オンライン授業を考える」と聞いて、すぐオンラインの使い方に意識が向いてしまったのですが、そうではない原点に戻って自分と向き合うことができました。</p> <p>対面でなくても顔が見えなくても信頼性を築くことができるし、対面ならではの体験も大事ですね。</p> <p>でも、オンラインのこうした勉強会は本当に便利です。離れた地の方たちとお話できたことも嬉しかったです。</p> <p>参加させていただき、ありがとうございました。</p>
23	<p>自分が考えなければいけないのは、対面かオンラインかという問題ではなく、どのような授業を目指すのかなのだと改めて感じました。現在、大学と養成講座で教えていますが、単なる日本語文法や教え方の方ではなく、学びに対する姿勢やストラテジー、教育者としての信念などについて伝えていきたいと思いました。嶋田先生、ありがとうございました！！</p>

24	<p>本務校の大学では2020年2月、2022年2月の2か月だけオンラインでした。非常勤の大学では20回中8回ぐらいオンラインという経験しかありません。ベトナムでは顔を見せないというのが当たり前になっているので、学生の反応を確かめるのも難しく、いろいろな方法で学生の参加度を高める仕掛けをしていますが、なかなか難しいものがあります。(ベトナムでは教師も顔を見せないというのが普通ようです。) 学生も教師もなれないので手探り状態が続いています。</p> <p>そういった中で読解、作文指導をオンラインでされているお話を伺い、次回の授業で作文指導があるのでしてみようと思いました。「将来の夢」という題でしたので、Google formで作文が書きやすいような質問に事得てもらうようにしました。それをもとにブレイクアウトルームで話し合ってもらいました。</p> <p>学生たちはイメージがつかめて書きやすかったようです。</p> <p>ありがとうございました。</p>
25	<p>心からありがとうございますと言いたいワークショップでした。オンライン授業になってから2年間苦しんだりモヤモヤしたりしていたことが見事に整理され、振り返りとともに次にどのようなステップを踏むべきかという道筋が見えてきました。オンラインになる前から学生にとって有意義な授業や学習は何かを考えつつ向かい合っていると既存の教育システムから逸脱してしまうことがまあり、逆にそこを遵守すると紋切り型のものになってしまい、教える側の自分自身がつまらなく、やる気を失ってしまうということを繰り返してきました。否応ないオンライン授業実施は不幸な出来事のようにも思います。固定観念から解放する一まず教師から、そして学生にもそれを促しながら本来の学習の楽しさや有意義なものを追究する形で進めていく勇気を持ちたいと思いました。ハイブリッドの授業形態は、対面による人と人が直に触れ合うことのみから創り出せるハートフルで安全な環境を、そしてオンラインでは学びの時間と空間の効率的な環境を提供でき、この双方を上手く組み合わせることができる可能性に満ちています。10年以上前に働いていたアメリカの教育現場の研修会で、2つの授業のビデオを見せられて、どちらが優れていると思うかと問われたことがあります。1つはびしっとスーツを着た精悍な雰囲気男性教師が無駄のない時間構成の理路整然とした授業を生徒たちの前で繰り広げ、熱心に教えていました。熱く緊張感のある教師内で学生たちは真剣な顔をして授業を受けていました。もう1つはよれよれのスーツを着たちょっとくたびれた感じの男性教師が時には間延びしたような口調で、学生たちの間を行ったり来たりして時には学生の一人に何か突然質問したりすると学生はげーっ、何だよみたいな顔で反応したりする少々、田舎っぽい雰囲気の授業でした。私達教員の95%以上がはじめの方の授業に優れていると手を挙げました。しかし結果は後者の方で、その時、はっとしたことを鮮明に覚えています。初めのほうは見た目はかっこよく見えるが学生たちの心に届いていないのでした。やり取りや心の交流が生まれているかが要です。また同時に当時、盛んに取り入れられていたパワーポイントを使った授業も始めの内はテクノロジーを駆使してかっこよく学生も真剣に授業を受けていましたが慣れてくると上の空になりがちで、逆に思い切りハンドメイドの授業に惹かれていくことも経験したことがあります。今回のワークショップではこの2年だけでなく、ここ10数年間の教育へのアプローチでこだわりをもっていたことを鮮やかにまとめ、問題点や改善点を示唆してくださいました。今回、まだまだ書き足りないのですが紙面の関係もありますのでここまでにします。伊藤先生、ありがとうございました。嶋田先生、すてきなワークショップへ参加するチャンスを下さってありがとうございました。</p>